

京都北部地域 産学公連携・交流 フォーラム

とき 2007年9月27日(木)

19:00~21:30(受付開始18:30)

ところ

国立大学法人 京都工芸繊維大学
京丹後キャンパス

京丹後市網野町網野3038番地の1

定員：40名

(申込先着順)

参加料：無料

『産学連携=大きな企業が大学等と行うもの』と思っははおられませんか？
決してそうではありません。
中小企業でも、個人経営の事業所でも、産学連携はできます。
また、新技術や新製品の開発はもちろんのこと、パッケージデザインや今の経営を見直したい
ときにも、産学連携を活用することができます。
このフォーラムは、丹後で実際に取り組まれている事例も交えながら、
どうすれば産学連携ができるの？
どんなことが産学連携で取り組まれているの？
などについて、まず知っていただくために開催するものです。

～産学連携で、明日を切り拓く～

■ プログラム

- 開 会(19:00)
- 講 演 (19:10~19:40)
「**どうすれば産学連携ができるか**」
講師：産学官連携コーディネーター
京都工芸繊維大学地域共同研究センター
客員教授 行場 吉成 氏
- 北部地域での事例の紹介
 - レーザー加工機の開発とその取組み**(19:40~19:55)
=丹後の企業ニーズと大学の技術シーズの結びつき事例=
発表者：丹後機械工業協同組合
常務理事 寺田 昭夫 氏
 - 丹後ちりめんとプラスチックの融合**(19:55~20:10)
=国の施策の活用を視野に入れた取組み事例=
発表者：京都工芸繊維大学
産学連携研究員 藤原 高志 氏
 - ブランド化と販売戦略の取組み**(20:10~20:25)
=小規模企業での産学連携事例=
発表者：有限会社平井活魚設備
取締役 平井 誠 氏
 - パッケージデザインで商品をより魅力的に**
=デザインを活用した産学連携の取組み事例=(20:25~20:40)
発表者：京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科
准教授 西村 雅信 氏
- (休 憩)
- 交流会(20:50~21:30)
事例紹介について意見交換
- 閉 会(21:30)

同時開催！【技術・経営相談会】(19:40~21:30)

[無料]

フォーラムと並行し『技術・経営相談会』を開催します。
相談対応は、講演講師の行場客員教授が行います。
1企業あたり20~30分程度、4社を募集します。
相談ご希望の方は裏面にご記入の上、FAXにてお申込みください。



京丹後キャンパス
050-3527-6276

申 込 方 法

電話・FAX・電子メールにより、下記までお申込みください。
お申込みの際、次の事項をお知らせください。
事業所名 役職名 氏名
事業所の所在地・電話番号・FAX番号・電子メールアドレス
相談希望の有無(有の場合は、その相談内容の概要)
(FAX申込の場合は、裏面の申込用紙をご利用ください)

申 込 連 絡 先

京丹後市役所商工観光部商工振興課
電話0772-69-0440 FAX0772-72-2030 電子メール shokoshinko@city.kyotango.kyoto.jp
京都産業21北部支所
電話0772-69-3675 FAX0772-69-3880 電子メール n-shisho@ki21.jp

主 催

京都府 京丹後市
財団法人京都産業21
京丹後市商工会
丹後機械工業協同組合
丹後織物工業組合

共 催

京都工芸繊維大学

主 管

京丹後市 財団法人京都産業21

レーザー加工機の開発とその取組み

発表者：丹後機械工業協同組合 常務理事 寺田 昭夫 氏

丹後機械金属業界はモノづくり関連企業が約200社集積し、地域を代表する産業の一つとして位置づけられているが、部品加工を主体とした下請構造群で形成されているため、市場競争力の弱い企業体質となっ
ています。
このような現状から脱却するためには新たなモノづくりを発信していく必要があり、京都工芸繊維大学との共同研究により、プロジェクトチームを結成し、業界の次世代を担う精密微細加工技術や販路開拓のシンボリック商品として卓上型レーザー加工機の開発に取り組んでいます。

丹後ちりめんとプラスチックの融合

発表者：京都工芸繊維大学 産学連携研究員 藤原 高志 氏

和装需要の低迷や、近年の大幅需要減など、地場産業である“丹後ちりめん”をとりまく環境はますます厳しくなっています。
そのような中、丹後ちりめんの新たな需要を創出するため、国の「地域資源活用プログラム」による支援を活用して、丹後ちりめんの新たな用途と新たな市場参入を視野に入れ、織物とプラスチックとの融合による産業用資材の製品化をめざし、大学・織物事業者・成形事業者が連携して研究開発を進めています。

ブランド化と販売戦略の取組み

発表者：(有)平井活魚設備 取締役 平井 誠 氏

『京都に一大ブランドを築き上げ、地域を活性化させたい』-そんな思いのもと、活魚水槽の販売から、活魚販売へと事業を拡大し、登録商標の取得、新流通システムやトレーサビリティシステムの構築等に取り組んできました。
そんな中、京丹後市地域再生協議会主催の『経営学講座』において、京都工芸繊維大学の中森准教授・行場客員教授と出会い、講座終了後も継続して両先生の御指導を受け、また市役所等の支援も受けながら、流通販売業では全国初となる「知的資産経営報告書」を作成・公表しました。
現在でも先生方の御指導をいただきながら、新たなことにチャレンジしています。
(取締役 平井誠さん談)

パッケージデザインで商品をより魅力的に

発表者：京都工芸繊維大学・大学院工芸科学研究科 准教授 西村 雅信 氏

京都府の丹後旨いもんづくり支援事業にもとづく「丹後旨いもんづくり委員会」。
そこで提案された「エチゼンクラゲを原料とした食品」「丹後産の焼酎」等のパッケージデザイン開発事例をもとに「アイデアの効いたデザインの導入」による地域産業の活性化の方向を模索します。

京都北部地域産学公連携・交流フォーラム申込書

申込期限 平成19年9月20日(水)

申込先 京丹後市役所商工観光部商工振興課
電話0772-69-0440 FAX0772-72-2030 電子メール shokoshinko@city.kyotango.kyoto.jp
京都産業21北部支所
電話0772-69-3675 FAX0772-69-3880 電子メール n-shisho@ki21.jp

事業所名				
貴部署 お役職		フリガナ		
事業所 所在地	〒			
TEL		FAX	E-Mail	
事例紹介で興味を 持たれたテーマ	の事例	の事例	の事例	の事例 (数字は表の事例番号)
交流会で聞きたい こと				
*当日、技術・経営相談会(無料)を同時開催します。相談を	希望する	希望しない	(4社)	
相談内容				